

## 教育委員会 8 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和4年 8月 3日(水) 午後3時30分から午後4時
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員
- |        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 教 育 長  | 丸 山 | 陽 一 |
| 同職務代理者 | 近 藤 | 守   |
| 委 員    | 倉 石 | 和 明 |
| 委 員    | 塚 田 | まゆり |
| 委 員    | 茅 野 | 理 恵 |
- 4 説明のために会議に出席した者
- |                 |     |     |
|-----------------|-----|-----|
| 教 育 次 長         | 藤 澤 | 勝 彦 |
| 教 育 次 長         | 勝 野 | 学   |
| 総 務 課 長         | 北 島 | 克 彦 |
| 保健給食課長          | 丸 山 | 英 樹 |
| 家庭・地域学びの課長      | 野 池 | 達 朗 |
| 文化財課長           | 前 島 | 卓   |
| 学校支援官           | 酒 井 | 好 和 |
| 学校教育課<br>主任指導主事 | 内 川 | 源 弘 |
| 主 幹 兼<br>総務課長補佐 | 石 坂 | 陽 子 |
- 5 書 記
- |                 |     |     |
|-----------------|-----|-----|
| 総 務 課<br>庶務担当主査 | 児 島 | 真 季 |
|-----------------|-----|-----|

丸山教育長が開会を宣した。

#### <教育長あいさつ>

新型コロナウイルス感染症の流行が第7波となり、感染が急拡大している。市内の年代別の感染者数を保健所の資料から見てみると、直近1週間の1日平均が、10代未満と10代の感染者が合わせて約38%で最も高く、次いで20代、30代、40代と、若い年代ほど感染者が多くなっているという特徴がある。これはワクチン接種の状況によるものかもしれないが、60歳以上の感染者数はそれほど増えていないようだ。

学校においては、7月に入り学級・学年閉鎖が非常に増えた。現在は夏休み中ということで、学校での対応はひとまず落ち着いているが、盆明けには2学期が始まり、中学校の中には、すぐに修学旅行を予定している学校もあるので、今後の感染状況の動向に注意しながら対応していきたいと考えている。

先月28日に、文部科学省が小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果を公表した。これは翌日の新聞に掲載されたので、ご承知の方も多いかと思うが、中でも4年ぶりに行われた理科については、新しい学習指導要領に基づいて初めて出題された。結果は、中学校では前回より平均回答率が大幅に下がり、5割を切ったという状況である。中学理科の急落について、文部科学省では、予測を立てて行う観察や、実験して分析、考察するという新しい指導要領の「探究」ということを意識した問題に生徒が対応できなかったと見ているが、新型コロナウイルスの感染拡大で、学校現場では観察や実験を若干控えざるを得なかった状況にあるのが一因かと思う。質問紙調査（アンケート調査）では、子どもたちの理科や科学技術に対する意識への設問が盛り込まれた。「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいか」という問いに対して、肯定的回答が小学6年生、中学3年生ともに20%台ということで、前回調査と比べても横ばいで推移しており、理科離れが進んでいるということである。文部科学省では、この理科離れを食い止めるために、小・中学校において、観察・実験を通じた授業の充実を促しているということだが、私自身も理科教育の再考は急務だと考えている。そのため、現在、市教育委員会では、理科教育センターと連携し、子どもたちがわくわくするような体験を通して、理科の面白さや不思議さを知ってもらい、理科好きを増やすための方策を検討している最中である。

#### <協議事項>

協議1号「令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書(案)について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

- ・7月5日の教育委員会定例会で素案を諮り、客観性を確保するため、7月14日に学識経験者3名から意見をいただいた。
- ・承認いただいた後、9月市議会定例会前に議会へ提出する予定である。

委員 全体意見の中のマスクの問題について、学校における「マスクを外して良い」という指導が、新型コロナウイルス第7波の流行により難しくなっているように思うが、現在、どのように指導しているのか。

勝野教育次長

7月末現在において、熱中症に係る部分においては、外しても良いとしている。

委員 学識経験者の意見は、マスクを外すことよりも、子どもたちの心のケアを大事にしてほしいという思いがあるように感じるが、この文章だとマスクを外すという

ことの方が強く伝わってしまうように思う。

藤澤教育次長

修正案として、再度確認してもらおう。

委員 学識経験者からの意見の中の「1-1 子どもたちの「生きる力」を育成する教職員の力量の向上」について、「免許更新新制度の改正により、各教員の研修履歴は重要になってくる。」とあるが、更新制度をやめることによって研修が課せられる等、何かノルマのようなものが増えるのか。

勝野教育次長

ノルマが増えるわけではない。免許更新制度があったことにより、教職員は、今まで数年に一度の研修を受けており、それ自体が研修履歴となっていたが、なくなったことによって今までどんな研修をしてきたかが不明となるため、履歴が大事だと国が発信している。長野市では、これまでに信州大学の協力を得て、研修履歴の在り方については、ある程度構築されているので、今後の国や県の動きを踏まえて、更により良いものにしていきたいと考えている。

丸山教育長

校長から、研修の受講を勧めることはできるのか。

勝野教育次長

できる。

丸山教育長

今回の報告書に、「前年度までの学識経験者の意見に対する取組」が記載されているが、今回いただいた意見も来年度の報告書に載せるということか。

藤澤教育次長

来年度、前年度分として載ることとなる。来年度は第三次長野市教育振興基本計画に基づくものとなるので、内容としては全体的に変わってくるものと思われる。

丸山教育長

今回いただいた意見に対する見解というのは、今回の報告書には載らないのか。

藤澤教育次長

いただいた意見に基づき令和4年度に行った取組として、来年度の報告書に載ることとなる。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議2号「令和5年度（2023年度）長野市立長野高等学校入学者選抜要項（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

内川主任指導主事が説明した。

- ・昨年度からの変更点として、「新型コロナウイルス感染症等に係る追検査及び特例再募集」について、県立高校と同様に日程を設定し明記した。
- ・追検査及び特例再募集の実施方法については、状況を見ながら県と協議し別に定める。

委員 追検査の対象となるのは、新型コロナウイルスとインフルエンザのみなのか。

内川主任指導主事

記載されている感染症以外にも、体調不良の生徒に対しては例年別室受験を認めており、状況に応じて対応する。

委員 その旨は明記しないのか。

内川主任指導主事

これについては実施方法によるところなので、要項では記載していない。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議3号「社会教育主事の発令について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

委員 協議内容とは異なるが、長野市はこうしたものについては全て性別を明記しているのか。

藤澤教育次長

性別の記入が必要ないものについては欄をなくしている。

委員 男女の記載は必要なのか。

委員 委員などについては、統計上、比率などを示すために必要となるものもある。

丸山教育長

なぜ発令日のタイミングが今なのか。

野池家庭・地域学びの課長

大学を卒業した後、学校職（教育委員会）に在籍した期間や、講習会への出席などから資格を有したため、発令するものである。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業0件、共催事業0件、後援事業48件（賞状交付3件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

9月定例会 8月31日（水）午後3時から 教育委員会室

10月定例会 10月5日（水）午後3時から 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員